

VMware vCloud Powered Services

VMware 互換のクラウドで広範なニーズに対応

デジタル トランスフォーメーションによって、企業のビジネスの推進方法が変わりつつあります。市場投入までの期間を短縮することがもっとも重要になり、次世代型アプリケーションをより迅速に、より短い間隔で開発して提供できることが、さまざまな業種で価値を創出し、競合他社との差別化を図るうえで不可欠となっています。この変化を受けて、コンテナを活用してアプリケーションをパッケージングおよび実行し、ソフトウェアの開発から本番リリースまでを迅速化させる、クラウド ネイティブ ソリューションが求められています。

コンテナ テクノロジーはこれまでも使用されてきましたが、オーケストレーション、スケジューリング、高度なスケーラビリティなどの機能を備えた最新のコンテナに企業の注目が集まっています。DevOps 機能を備えたコンテナを継続的インテグレーション / 継続的デリバリー (CI/CD) の一部として活用することで、Web スケール企業に匹敵するような、アプリケーションの迅速な提供が可能になります。アプリケーション開発者がコンテナと DevOps の導入を開始する一方で、アプリケーションを本番環境対応にするには、IT 管理者を巻き込んでさまざまな条件を整える必要が生じます。本番環境に対応したアプリケーションにするためには、エンタープライズ クラスのネットワークとストレージ、監視とログ収集、バックアップとディザスタ リカバリ、可用性、コンプライアンスなど、いくつかの要件を満たす必要があります。

vSphere Integrated Containers

VMware vSphere® Integrated Containers™ は、業界をリードする VMware の仮想化プラットフォームである vSphere を基盤として構築された、包括的なコンテナ ソリューションです。このソリューションでは、エンタープライズ クラスのネットワーク、ストレージ、セキュリティ、パフォーマンス、可視性を備えた既存の Software-Defined Data Center (SDDC) インフラストラクチャ上の本番環境で、最新のワークロードと従来のワークロードの両方を実行できます。

vSphere をお使いのお客様は、vSphere Integrated Containers のコンテナを簡単な手順ですぐにご利用いただけます。追加の設備投資や人件費は必要ありません。vSphere Integrated Containers は、VMware SDDC 環境全体と緊密に連携するだけでなく、Docker などの主要なコンテナ テクノロジーをサポートするため、コンテナ導入へのシームレスな移行に最適なソリューションです。vSphere Integrated Containers で最新のコンテナのメリットを活用することで、開発者の生産性とビジネスの俊敏性を強化し、市場投入までの期間を短縮できます。

vSphere Integrated Containers は、vSphere 6.5 以降の Enterprise Plus Edition™ をお使いのお客様と vSphere with Operations Management™ Enterprise Plus をお使いのお客様にご利用いただけます。ライセンス サブスクリプションを追加する必要はありません。また、有効な vSphere サポートおよびサブスクリプション (SnS) 契約をお持ちのお客様にはサポートが提供されます。

vSphere Integrated Containers の展開モデル

vSphere Integrated Containers では、2 つの方法でコンテナを展開および実行できます。既存の VMware SDDC 環境と緊密に連携するため、開発者と IT 担当者は 2 つの環境のメリットを最大限に活用できます。

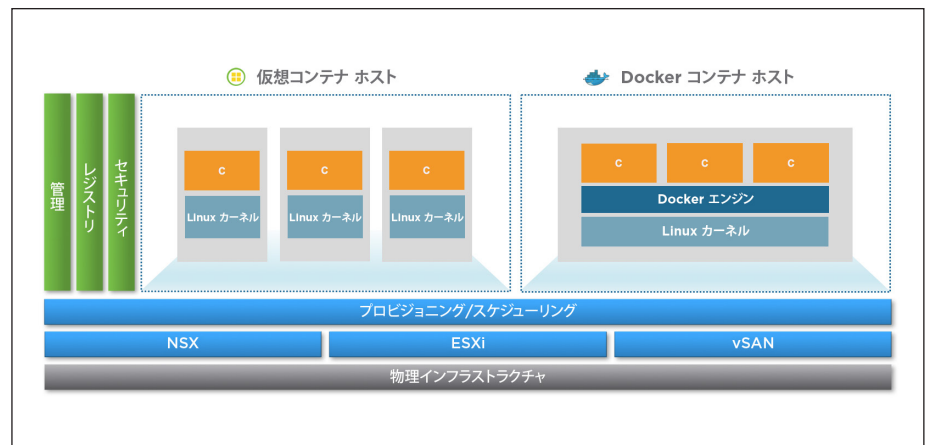


図 1 : vSphere Integrated Containers 1.2

仮想コンテナ ホスト

vSphere Integrated Containers は、vSphere のネイティブ構成要素を活用して、コンテナベースのアプリケーションをプロビジョニングします。IT 管理者は、特別なコンテナ インフラストラクチャ スタックを別途構築することなく、本番環境対応のコンテナ ソリューションを開発者やアプリケーション チームに提供できます。各コンテナ イメージを vSphere 仮想マシンとして展開することで、これらのワークロードで vSphere High Availability、vSphere vMotion®、vSphere Distributed Resource Scheduler™ など、vSphere の重要なアプリケーション可用性およびパフォーマンス機能を活用できます。vSphere Integrated Containers は、これらの機能を提供する一方で、コンテナ ベース アプリケーションの開発者に引き続き Docker API を提供します。

Docker コンテナ ホスト

vSphere Integrated Containers は、vSphere 上でのネイティブ Docker コンテナ ホストの実行もサポートします。開発者は Docker コンテナ ホストをセルフ プロビジョニングして、開発用サンドボックスまたは Swarm クラスターとして使用できます。Docker ホストをコンテナとして操作できるようになったことで、開発者はチケットなしでお気に入りの Docker ツールを使用でき、IT 部門はインフラストラクチャのガバナンスと制御を維持できます。

vSphere Integrated Containers の管理機能とセキュリティ機能

統合コンテナ管理ポータルおよびレジストリ

クラウド管理者および開発者は、vSphere Integrated Containers 管理ポータルを使用して、コンテナ ベース アプリケーションの管理とプロビジョニングを実行できます。この製品は VMware の ID アクセス管理と連携するため、ローカルおよび LDAP ベースの認証と承認をチームに提供できるほか、プライベート レジストリ内のコンテナ イメージ向けにプロジェクトレベルのコンテンツ信頼サービスおよび公証サービスを提供できます。また、コンテナ イメージの手動および自動の脆弱性スキャンも含まれているため、既知の脆弱性を持つイメージがデータセンター内で実行されることはありません。

エンタープライズ クラスのセキュリティ機能

攻撃対象領域の拡大にともない、企業環境にコンテナを導入する際には、コンテナのセキュリティが重要な課題になります。vSphere Integrated Containers を使用すると、次のようなエンタープライズ クラスの高度なセキュリティ機能を利用して、多くのセキュリティ リスクに対処できます。

- 仮想マシンの分離：vSphere によってハードウェア レイヤーが抽象化され、すべてのコンテナが、ホストやほかのコンテナから完全に分離されます。
- 認証と承認：vSphere Integrated Containers は、LDAP サービスと Active Directory サービスを使用して、強固な ID およびアクセス管理をサポートします。
- ロール ベースのアクセス コントロール (RBAC)：管理者は、vSphere Integrated Containers を使用することでプロジェクト レベルでアクセスを制御できるため、チーム間できめ細かいセキュリティを設定できます。このリリースでは RBAC がコンテナ管理ポータルに統合されているため、簡単に使用できます。
- エンタープライズ プライベート コンテナ レジストリ：vSphere Integrated Containers が提供するエンタープライズ プライベート コンテナ レジストリには、ID 管理、LDAP 連携、RBAC、信頼できるコンテンツ / 公証、脆弱性スキャンなどの高度なセキュリティ機能が備わっています。

vSphere Integrated Containers のユースケース

包括的なコンテナ インフラストラクチャ ソリューションである vSphere Integrated Containers は、エンタープライズ コンテナの 2 つの主要なユースケースをサポートします。これらのユースケースは、クラウド ネイティブを導入したばかりの企業にも、導入実績のある企業にも共通するものです。

アプリケーションの再パッケージング

組織によっては、これまで仮想マシンで実行されてきたモノリシック型のアプリケーションを、リファクタリングせずにコンテナに再パッケージングすることを希望する場合があります。この方法では、開発ワークフローが迅速化され、アプリケーションの展開が簡素化され、アップグレードやパッチ適用などアプリケーションのメンテナンスが非常に容易になります。vSphere Integrated Containers では、コンテナ イメージを仮想マシンとして既存の仮想マシン ワークロードとともに展開することで、コンテナ化されたワークロードを vSphere の本番環境で実行できます。このように、vSphere 環境の既存のツールを使用してコンテナ ワークロードを管理し、本番レベルの可用性、セキュリティ、可視性を実現できます。

詳細情報

製品情報：

<http://www.vmware.com/jp/products/vsphere/integrated-containers.html>

参考情報

ハンズオン ラボ：

<http://labs.hol.vmware.com/HOL/catalogs/lab/2729>

ダウンロード：

<http://www.vmware.com/go/download-vic>

Twitter：

<https://twitter.com/cloudnativeapps>

ブログ：

<https://blogs.vmware.com/cloudnative/>

YouTube：

<https://www.youtube.com/channel/UCdkGV51Nu0unDNT58bHt9bg>

開発者用サンドボックス

開発者は、IT 部門の関与を最小限に抑えながら、ネイティブ コンテナ ツールを使用してアプリケーションをビルド、テスト、実行できる環境を必要としています。vSphere Integrated Containers はネイティブ Docker コンテナ ホストをオンデマンドで提供するため、開発者は、時間のかかる IT プロセスを経ることなく、使い慣れた Docker ツールを使用してアプリケーションをテストおよび実行できます。これにより、開発のスピードと俊敏性が大幅に向上し、市場投入までの期間を短縮できます。

vSphere Integrated Containers のメリット

コンテナ ワークロードを統合プラットフォーム上ですぐに本番稼動

vSphere Integrated Containers には、既存の SDDC 環境で非コンテナ ワークロードとともにコンテナを実行する方法がいくつか用意されています。付属の統合コンテナ管理ポータルを使用すると、コンテナ ワークロードの展開と管理が大幅に簡素化されるため、組織内に新たな IT サイロが発生することはありません。企業は、既存の SDDC ツールや人材を活用して、コンテナ ワークロードを本番環境に展開し、管理できます。また、基盤となるネットワークとストレージを活用して、新しいワークロード向けにエンタープライズクラスのパフォーマンス、セキュリティ、可視性を実現できます。

コンテナ ワークロード向けに最高レベルのセキュリティを実現

企業は、既存の SDDC 環境を活用して、コンテナ ワークロードに最高レベルのエンタープライズセキュリティを提供できます。仮想マシンの分離、RBAC、マイクロセグメンテーション、AD/LDAP との連携、コンテンツ信頼および脆弱性スキャン機能を備えたプライベート レジストリなどのセキュリティ機能によって、最新型のワークロードを本番環境で安全に実行できます。

開発者の俊敏性と生産性の向上によってこれまででないスピードと競争優位性を実現

開発者は、vSphere Integrated Containers を利用することで、最新のアプリケーションのビルドと実行に必要な、Docker などのコンテナ ツールやサービスにオンデマンドでアクセスできます。企業は、アプリケーション開発を迅速化し、製品ロードマップの進展を促進することで、革新的なソフトウェア ソリューションをより短期間で市場に提供できるようになります。



ヴァイムウェア株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 13F www.vmware.com/jp

Copyright © 2017 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<http://www.vmware.com/go/patents> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. およびその子会社の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。アイテム No : 52033wf-vmw-so-vic-1-2-a4-103b
E:2017/08 J:2017/09